

## 情報モラル教育実践授業報告書

対象学年	小学校5年生
領 域	特別活動
指導項目	SNS でのやり取りで気をつけることを考えよう

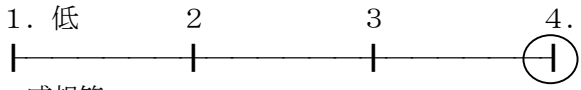
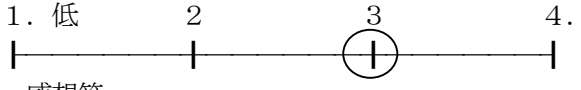
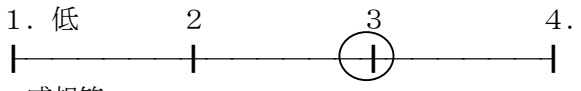
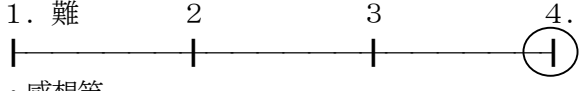
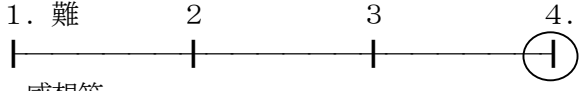
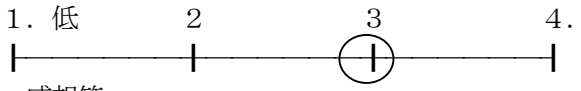
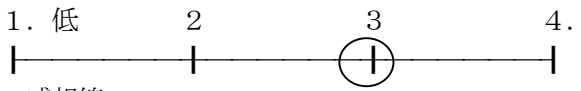
情報モラル指導モデルカリキュラム ( <a href="http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html">http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html</a> )			
指 導 分 野	情報社会の倫理		
コ ー ド	a3-1	指 導 事 項	他人や社会への影響を考えて行動する。

授業前の児童の状況	高学年になり心身ともに大きく成長しつつあるが、まだまだ幼い面が多く残されている。情報機器を扱う機会は増えており、日常生活においてコンピュータやタブレット端末、スマートフォンを使う児童の割合が増えている。また、家庭においても自由に行動できる機会が増え、連絡手段として日常的にSNSを利用している児童もいる。事前アンケートによると、現在は使用してなくても、将来自分の情報端末を手に入れた際には、「SNSを利用してみたい」と考える児童がかなりの割合を占めていることが分かった。
期待される児童の変容 (ねらい)	情報機器を利用することで、さまざまな情報を得たり、SNSを介して他者と自由に連絡を取り合ったりすることが可能になる。そのような状況において想定されるトラブルを知り、情報機器を使ったコミュニケーションにおいても、相手の立場や気持ちを思いやることの大切さを理解する。
児童の変容を促すための授業 の工夫 (ポイント)	①情報機器の所有率、SNSの利用状況、SNSでのトラブルの有無等をアンケート調査により把握する。 ②大型テレビを活用して、SNSを利用する場面を実際に提示することで、興味をもって話し合いに参加できるようにする。 ③導入部分において、情報モラル指導教材「大人からは見えないネットの世界 みんなで何を話していますか?」を活用し、自分ならどうするかを考えさせながら活動を進める。 ④グループの話し合いの場面で、ワークショップ形式の話し合いを行うことで、一人一人の意見をより一層引き出せるようにするとともに、グループの活発な意見交流を促すようにする。 ⑤指導過程を、「導入」から「展開1」へのつながりと、「展開1」を導入とした「展開2」へのつながりの2段階構成とすることで、児童が授業の流れを把握しやすくなり、主体的に学べるようにする。
利用するコンテンツ等 (サイトのアドレス) または資料等	愛知県総合教育センター 「大人からは見えないネットの世界 みんなで何を話していますか?」 (概要) グループ内でのSNSのやり取りで、一人が仲間はずれにされる。

### 授業実施後の児童の感想

- 将来スマートフォンを使えるようになった時には、いじめにならないように気をつけたいと思いました。
- SNSはとても便利だけど、使い方を間違えるととても怖いことが分かりました。
- SNSでも普段の生活でも、人の悪口を言ったりしてはいけないと思いました。

# 評価

児童について	児童の 興味関心の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 導入の場面において、スマートフォンを提示し、SNSを実際を利用して見せたことで、授業に対する興味関心をもたせることができた。
	児童の理解度	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 付箋を利用してグループでの話し合いを進めたことで、他者の意見も取り入れながら、自分の意見を再構築させることができた。
	児童の 変容の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 話し合いによりまとめた「グループの宣言」を画用紙に書き、教室に掲示したことで、日々の生活でも、相手の気持ちを思いやる行動が多くなってきた。
授業について	事前準備の難易度	1. 難                      2                      3                      4. 易  理由・感想等 スマートフォンを用意し、その画面を大型テレビに提示できるようにした。短時間で自分の意見を書き込めるようにワークシートを工夫した。
	指導者にとっての 授業展開の難易度	1. 難                      2                      3                      4. 易  理由・感想等 付箋を利用してグループで話し合いを進めたことで、積極的な意見の交流が行われ、授業をスムーズに展開することができた。
	授業の「ねらい」の 達成度	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 授業後の児童の感想より、SNSを利用する際に気を付けるだけでなく、実際の生活場面においても気を付けようとする姿勢が見られた。
	指導方法の 効果の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 動画を活用するだけでなく、スマートフォンを使ってSNSを利用して見せたことで、よりいっそう興味関心を引き出すことができた。
<実践の感想及び反省点等> 今回の実践では、SNSを題材として取り上げ、その利用の仕方について考えさせた。導入の場面において、SNSを実際を利用して見せたことで、児童の興味関心を高めることができた。また、話し合いの場面では、付箋紙に個々の意見を記入し、それをもとにホワイトボードを利用してまとめる方法（ワークショップ形式）を取り入れた。ふだんは人前で意見を発表することが苦手な児童も、自信をもって話し合いに参加することができており、効果的であったと感じた。この方法は、他教科においても効果的であると思われる、今後はさまざまな話し合いの場面に活用していきたいと考えている。		

## 実践例

配当時間		学習のすすめ方	指導のポイント
導入	8分	<p>1 SNSを実際に使用する様子を見て、どのようなものなのかを知る。</p> <p>2 アンケートの調査結果を見て、スマートフォン等の所有率やSNSの利用状況、SNSでのトラブルの有無について知り、本時の課題をつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンを2台用意し、SNSを実際に使用する様子をOHC（実物投影機）で大型テレビに提示する。</li> <li>・5年生全体に実施したアンケートの調査結果をグラフにまとめ、大型テレビに提示する。</li> </ul>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">SNSでのやり取りで気をつけることを考えよう。</div>	
展開 1	12分	<p>3 情報モラル指導教材「大人からは見えないネットの世界 みんなで何を話していますか？」を見る。</p> <p>4 出来事の問題点を考える。</p> <p>(1) 登場人物とその関係を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケン（野球にさそった）</li> <li>・タロウ（野球にさそった）</li> <li>・ジロー（野球にさそわれた）</li> <li>・タケ（仲間はずれにされた）</li> </ul> <p>(2) どうしてトラブルになったのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジローがはっきりと断らなかったから。</li> <li>・タケちゃんが自分勝手なことを言ったから。</li> <li>・ケンとタロウが「ウザイ」「無視」などひどいことをいったから。</li> <li>・ジローが一緒になって無視したから。</li> </ul> <p>(3) タケちゃんの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とてもつらかっただろう。</li> <li>・悲しい気持ちだっただろう。</li> </ul> <p>5 情報モラル指導教材「大人からは見えないネットの世界 みんなで何を話していますか？」の解説を見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明を補足しながら、プレゼンテーション教材を提示する。</li> <li>・登場人物の関係を黒板に提示し確認することで、その後の発表がスムーズに展開できるようにする。</li> <li>・トラブルの原因をはっきりさせることで、その後のグループでの話し合いが活発に行われるようにする。</li> <li>・タケちゃんの立場になって考えることで、ネットいじめの深刻さについて理解できるようにする。</li> <li>・説明を補足しながらプレゼンテーション教材を提示する。</li> </ul>

<p>展開 2</p>	<p>20 分</p>	<p>6 グループで意見を交流し、宣言にまとめる。</p> <p>(1) SNSでのトラブルが起きないようにするため、自分でできることを考え、付箋紙に記入する。</p> <p>(2) 付箋紙をホワイトボードに貼り、自分の意見をその理由とともに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめになるので、悪口は書き込まない。</li> <li>・さっきの話のように無視をしてはいけない。</li> <li>・誤解されるので、会ってきちんと話をする。</li> </ul> <p>(3) 同じ（似ている）意見が書かれた付箋紙をグルーピングし、各グループの意見を宣言にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを、簡単な言葉で、できるだけ多くの付箋紙に記入するよう指示する。</li> <li>・グループの司会者と発表の順番を指定し、それに従って一人ずつ付箋紙を貼りながら発表するよう指示する。</li> <li>・同じ（似ている）意見が書かれた付箋紙を集めて貼るよう伝える。</li> <li>・同じ（似ている）意見が書かれた付箋紙の数が多いものをもとに、グループの意見を宣言にまとめるよう指示する。</li> </ul>
<p>まとめ</p>	<p>5 分</p>	<p>7 グループの宣言を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSでも悪口を言いません。</li> <li>・SNSだけでなく、会って直接話をします。</li> <li>・SNSでも友達を仲間はずれにしません。</li> </ul> <p>8 本時のまとめを聞き、ワークシートに授業の感想を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの宣言を理由とともに発表するよう指示する。</li> <li>・話し合いで用いたボードは黒板に貼り、全体に見えるようにする。</li> <li>・「気をつけよう！」を大型テレビに提示し、読み上げる。</li> </ul>